

## 2025年5月版『ビル用建材使用状況調査』発刊のお知らせと結果概要について

(一社)日本サッシ協会 調査部会では、毎年、サッシメーカー各社の協力を得て、非木造建築物に取り付けられたサッシ・カーテンウォール・ドア等、各種建材に関する実態を調査・集計し、「ビル用建材使用状況調査」として取りまとめています。この度、最新版となる「2025年5月版」を発刊いたしましたので、お知らせいたします。

ビル用建材使用状況調査は、1990年の第1回調査報告書発刊以来、今回で通算31回目を数えます。調査対象は、全国都道府県（沖縄県を除く）のビルやマンションといった非木造建築物で、期間は、2023年4月から2024年3月の間に調査協力企業が受注した物件です。調査にあたっては、新築のみならず改修も対象としており、今回の有効調査数は1,799件（うち、JV物件18件）となりました。

調査項目は、まず調査対象となった建築物の「場所」「工法」「新築・改修」「用途」「規模」等に関するもの、そして当該建築物に使用された「サッシ」「カーテンウォール」「ドア」「その他」における「材質」「タイプ」「性能」「数量」「建具面積」「色」等に関するものとし、それらの集計結果について図や表を用い、分析・解説しています。また、「調査分類表」のコーナーでは、解説しきれなかった項目も含む全調査項目の集計データを、内容に応じて、地方別11区分（北海道、東北、北関東、東京、南関東、北信越、東海、近畿、中国、四国、九州）や建物用途別等に細分化した表を、67頁にわたり一挙掲載しています。

2050年のカーボンニュートラルに向け、開口部が果たす役割はますます重要となっています。そのような中、今回の調査からサッシの材質に関する調査を一部見直し、従来の選択肢「アルミ」、「スチール・ステンレス」、「樹脂・その他」に、新たに「アルミ樹脂複合」を追加しています。他にも開口部に関するトレンドを把握する上で、参考となる調査結果が掲載されますので、ご興味のある方は（一社）日本サッシ協会までお申し込みください。

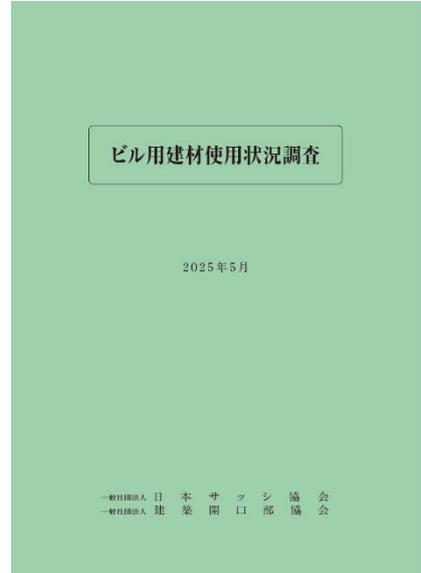
[書籍名] 「2025年5月版 ビル用建材使用状況調査」

A4判 ●頁 定価5,500円（会員価格3,300円）

[申込先] (一社)日本サッシ協会のホームページ 「出版物一覧」

(<https://www.jsma.or.jp/publication/>) よりお申し込みください。

[問合せ先] (一社)日本サッシ協会 大野 TEL: 03-6721-5934



【2025年5月版 調査結果概要】(％は小数点以下第一位を四捨五入)

I. 調査建築物の特性

- ・調査建築物のサンプル件数は、1,799件。うち、JV物件は18件。
- ・建築物の施工場所は、(件数比)では、「東京」「南関東」「近畿」が高くいずれも17%前後にて均衡しているが、(延床面積比)では、「南関東」32%、「東京」19%となっており構成比に差が出ている。
- ・建物の構造別構成比(件数比)は、S(ALC含む)50%、RC43%、SRC3%。
- ・工事種類別構成比(件数比)は、「新築」86%、「改修」14%。
- ・建築主別構成比(件数比)は「会社」が7割、「個人」「会社でない団体」「市町村」がそれぞれ1割弱で続く。
- ・建物の用途別構成比にて、(件数比)は、「居住用」3割、「非居住用」7割となっており、「非居住用」の中では「事務所」「工場・作業場」「倉庫」の順に比率が高い。また、(延床面積比)は、「居住用」2割、「非居住用」8割で、「倉庫」「事務所」「工場・作業場」の順であった。
- ・居住用の利用関係別にて、(件数比)は、「貸家」55%、「分譲住宅」33%の順であったが、(延床面積比)は、「分譲」64%、「貸家」28%と逆転する。

ほかにも、階数や延床面積、予定工期等に関するデータも、各種分類別に集計している。

II. 調査結果の内容(建具の内容)

- ・建築物の用途別に使用されたサッシ(面積ベース)の構成比は、「居住用(集合)」が最も高く4割を超えており、次いで「事務所」は1割台であった。
- ・居住用の利用関係別に使用されたサッシ(面積ベース)の構成比は、「分譲」6割、「貸家」3割となっており、建築物の延床面積の構成比に近い割合となった。
- ・アルミサッシの外観色構成比は、「ステンカラー」「シルバー」「ブラック」の順に高く、ここ数年順位に変動はない。
- ・今回調査より、サッシの材質に関する調査の選択肢として、従来の「アルミ」「スチール・ステンレス」「樹脂・その他」に、新たに「アルミ樹脂複合」を追加した。結果、構成比(面積)は「アルミ」9割以上と大半を占め、「アルミ樹脂複合」が占める割合は限定的であった。
- ・サッシのタイプ別構成比(面積比)は、「引違い等スライド系」6割、「FIX」2割、「開き、倒し系」1割となった。
- ・カーテンウォールのタイプ別構成比(面積比)は、「マリオン」6割、「ユニット」2割、「グリッド」1割となった。

上記以外にも、耐風圧、気密、水密、遮音、断熱、防火等、各種性能や仕様について、用途別や階数別、地域区分別といった様々な角度から、集計・分析を行っている。

以上

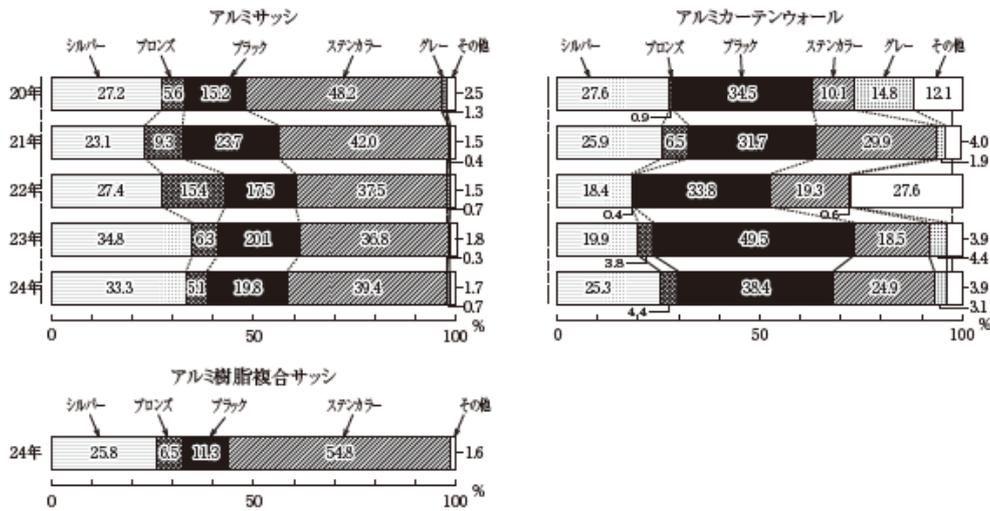
【ビル用建材使用状況調査のページサンプル】

5.主要製品の外観色について(75-77頁参照)

〔表:12〕主要製品の外観色別・件数・面積

主要製品の色	アルミサッシ				アルミ樹脂複合サッシ				アルミカーテンウォール			
	件数		建具面積		件数		建具面積		件数		建具面積	
	総計 (件)	構成比 (%)	面積 (千㎡)	構成比 (%)	総計 (件)	構成比 (%)	面積 (千㎡)	構成比 (%)	総計 (件)	構成比 (%)	面積 (千㎡)	構成比 (%)
総計	1,678.3	100.0	399.1	100.0	62.0	100.0	12.1	100.0	228.8	100.0	120.9	100.0
シルバー	559.3	33.3	111.1	27.8	16.0	25.8	3.9	32.3	57.9	25.3	31.6	26.2
ブロンズ	85.0	5.1	18.7	4.7	4.0	6.5	0.8	6.4	10.0	4.4	4.1	3.4
ブラック	332.7	19.8	95.8	24.0	7.0	11.3	0.6	5.1	87.9	38.4	44.1	36.5
ステンカラー	661.3	39.4	163.8	41.1	34.0	54.8	6.0	49.5	57.0	24.9	18.4	15.3
グレー	12.0	0.7	3.6	0.9	-	-	-	-	7.0	3.1	11.3	9.3
その他	28.0	1.7	6.1	1.5	1.0	1.6	0.8	6.7	9.0	3.9	11.4	9.5

〔図:40〕主要製品の外観色別面積比推移



アルミサッシの主要製品の外観色は〔表:12〕のように件数、建具面積ともに「ステンカラー」、  
 「シルバー」、「ブラック」の構成比が高くなっている。